

デンタルダイヤモンド／2014. 5月号

○実践歯科ライブラリー／障害者歯科医療～開業医のかかわりと病診連携～

(野本たかと・田中晃伸・関口五郎)

＊以前の障害者医療は知的障害や脳性麻痺・自閉症が対象であったが、概念の変化によって健康状態に何らかの問題を持つ人すべてが対象となり、実に人口の 1/4 が身体障害者であると考えられる。このような患者さんは一般歯科にも多く来院するため、それに対応できる知識が必要である。そこで、開業医での障害者歯科の実践の仕方を詳述し、開業医で対応できない場合の高次医療機関への紹介時の留意点を示しています。一読をお勧めします。

○歯科臨床 次の手：少子化時代の小児歯科“乳歯歯冠修復の原則”（島村和宏）

＊乳歯の歯冠修復に際しては、歯質が薄いため健全歯質の保存と管理が重要でありMIを心がけるが、う蝕の取り残しにも注意が必要である。この点を踏まえて、前歯・臼歯のコンポジットレジン修復と乳歯冠の作成方法について記載しています。クラウンフォームを用いての修復や乳歯冠作成法の復習に最適です。

歯界展望／2014. 5月号

○特別寄稿／歯根破折歯の診断と、ファイバーポストの評価（東京都開業 伊藤公二）

＊保存治療の進歩に伴い、歯の保存が可能になった反面、歯根破折による抜歯は増加傾向にあると言われている。本稿は歯根破折歯について診断し、ファイバーポストを併用したレジンコアの歯根破折への防止効果について考察している。たくさんの症例をあげ、考察しているので参考にさせていただきたい。結果としては、ファイバーコアを用いた築造体は、破折の防止に役立っていると思われる。しかし、破折線の認められる症例に対し、象牙質との接着を期待しファイバーコアを使用しても効果的ではないと言っている。術者としては、当たり前ではあるが、可能な限りの歯髄保存を心がけることが唯一の歯根破折の防止策であると筆者は結んでいる。

ザ・クインテッセンス／2014. 5月号

○社会から問われる医療安全 [5]まだモニターなしで治療しますか？（今泉うの 吉田和市）

＊歯科治療における全身偶発症の約 8 割がユニット上で起きている。その半数以上は局所麻酔時とその直後に発生している。さらに、死亡に至ったケースでは心不全や脳血管障害といった循環系の偶発症が過半数を占めている。一方、死亡に至らない全身的偶発症では血管迷走神経反射が約半数でもっとも多いが、一過性に回復するものから心停止に至るような重篤な場合があるので注意が必要である。歯科治療は健康な患者にとっても多かれ少なかれストレスを与える行為であることを認識し、全身的偶発症から患者を守るためにモニタリングは必須なのである。

○『北の国のナイチンゲール達の物語』から 20 年 [5]訪問口腔ケア 2 言語機能に関するケア（吉田春陽）

＊平成 24 年現在、要介護・要支援認定者の数は 550 万人弱で、日常生活に何らかの介助を要する認知症高齢者数は来年にも 345 万人に達すると予想されている。寝たきり老人は「寝かせきり」で起こることは周知のことであるが、脳卒中や大腿骨頸部骨折など「寝たきりの原疾患」に罹患した患者の実態調査でも「寝たきりになっていない人達がいる」ことがわかり、さらにその理由から“部屋に閉じこもっていないこと”が判明した。つまり、閉じこもり（＝コミュニケーションの喪失）をさせないように精神的なケアや言葉かけ、友愛訪問など、家族やボランティアの活躍が寝たきりにさせない威力を発揮する。

日本歯科評論／2014. 5月号

○特集／歯周病専門医が考える抜歯か保存か、予後判定の実態――

その時期、基準、患者への説明を考える（内田剛也 荒木久生 他）

＊どのような基準で抜歯を決断しますか？もちろん患者さんにとっては何とか残してもらいたいという希望は強いでしょう。しかし予後はどうなのか、また残することによっての弊害は、そしてどう患者さんに納得していただくか・・・いろいろと考慮することになります。本特集は歯周病専門医の先生方が症例を通して、抜歯の基準をどう考えるかを示したものです。診断の時の参考にお読みになることをお勧めします。

○インプラント周囲炎の予防に配慮したインプラント治療―原因が発生する 3 つの時期での対応

1. 術前に必要な診査・診断、歯周病治療で考慮すべきこと（小野晴彦 高井康博）

＊インプラントが臨床に応用され始めてすいぶんたちます。それに伴い予想しえなかった新たな疾患が生まれました。インプラント周囲炎です。そしてまだまだこの疾患の発症のメカニズムや治療は確立していません。そのためインプラント周囲炎をいかに予防するかがインプラントを成功させる鍵となります。連載第 1 回はインプラント手術の術前診査・診断に必要なこと、そしてインプラント周囲炎と歯周病の感染の違いなど述べています。